

第61回 二十五三昧会 会場：岡本寺本堂

認知症サポーター養成講座

10月28日(日)

どなたでも
参加自由!

14時～16時 『認知症サポーター養成講座』

16時～18時 みんなの交流会

講師：金剛丸 朋子氏（第二協立病院／作業療法士・認知症ケア専門士・おむつフッター）

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるための取り組みが必要とされています。その一つとして、認知症サポーターがあります。昨年お寺でもこの講座が行われたので、受講されたことがある方もいらっしゃるかもしれません。

認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して温かい目で見守り、できる範囲の手助けを行う人です。地域にたくさん認知症サポーターがいることで、温かな見守りがあり、本人や家族が助けを求めやすく、安心して暮らせるようになるのではないのでしょうか。

認知症サポーター養成講座では認知症の基礎知識についてDVDとテキストを使って学び、認知症の方との関わり方を、グループワークを通して考えていきます。



※イラスト：全国キャラバンメイト連絡協議会/認知症サポーター養成講座標準教材より転載

檀信徒以外の方も、曹洞宗以外の方も、初めての方も、お気軽にご参加ください。

二十五三昧会（にじゅうござんまいえ）とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、ゆるやかな人的交流の互助的な共同体です。入会費や制限など一切ありません、詳しくはお寺までご連絡を。（平日10時～16時）

会員
募集中

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺（こうほんじ）TEL.072-793-0203

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または